



ネイチャーセンターだより

2020年6月号

新・いきもの図鑑



オオアカゲラ (キツツキ科)

オオアカゲラは、日本からヨーロッパ東・北部のユーラシア大陸までの森林に細長く分布しています。日本では、北海道から九州まで分布し、北海道に生息するもの(亜種エゾオオアカゲラ)は、本州のものとは比べ、背中の白い斑が大きく、アカゲラと間違えられることがあります。腹に縦の斑点があります。春国岱のアカエゾマツコースや東梅自然学習林で観察できますが、行動範囲が広いので、目にする機会は少ないです。

食べ物は、主に昆虫やクモで、枯れた立木や倒木を激しくつついてエサを探します。つついたところには、大きな穴が開き、地面に大量の木くずが落ちています。また、ヤマブドウのような植物の実を食べることもあります。

【参考文献】

石田健. 1997. 日本動物大百科第4巻鳥II. 平凡社. 東京.
石塚徹. 2016. 見る聞くわかる野鳥界 生態編 生息環境とわけあり行動の進化. 信濃毎日新聞社. 長野.
叶内拓哉・安部直哉・上田秀雄. 2014. 山溪ハンディ図鑑7 新版日本の野鳥. 山と溪谷社. 東京.

おかえり、夏鳥

NEWS

今年も春国岱と東梅自然学習林には、夏鳥たちが渡ってきました。今年の初認(シーズン最初の記録)は、全体的に例年より早いものが多かったです。様々な夏鳥が観察されていますが、2種類ピックアップして初認状況を紹介します。

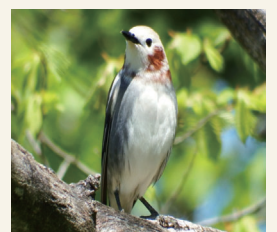
◎初認が早かったルリビタキ

今年は、4月19日にアカエゾマツコースの終点でさえずりが確認されました。例年と比べると38日も早い記録です。昨年は、4月30日が初認で、27日早い記録でした。初認が早くなっているのは、アカエゾマツコースが再開して、第3浜提の森へ行けるようになったことが原因だと思われます。



◎初認が遅かったコムドリ

今年は、5月26日に東梅自然学習林で記録されました。(温根沼大橋のたもとの持田野鳥保護区東梅では、5月4日に記録されました)例年と比べると、17日遅い記録です。過去の記録を見てみると、5月上旬に記録されることが多かったのですが、2015年は、5月30日に記録されています。



見どころMAP



タンチョウの繁殖の季節です。ヒナを守ろうととても敏感になっているので、そっと見守りましょう。

自然学習林では、ツボスミレやシコタンキンポウゲなど多くの花が見られるようになりました。

春国岱の草原では、ノビタキやオオジュリンなどが子育てに大忙しです。

- 観察路(ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路(ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路(キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路(アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路(小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路(春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

6月の見どころ予報

- 凡例
- ぜったい見られる (と思う)
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よーく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない

オジロワシ	○	樹木の枝や消波ブロックなどに止まっているところが見られる。時々、風蓮湖や根室湾の干潟に降りて、エサを探していることもある。風蓮湖付近では、少数が繁殖している。
タンチョウ	○	タンチョウは、繁殖の季節。ヒナを連れた親鳥は警戒心の強い時期なので、十分な距離を保って観察してほしい。
オオジシギ	+	早朝や夜に、ネイチャーセンター駐車場の周りまたは東梅自然学習林の近くにある草原で、オスがメスに求愛するため「ズビャーク、ズビャーク」と鳴き、尾羽で音を出しながら急降下する求愛ディスプレイをさかんに行う。
アオサギ	○	風蓮湖内で採食している少数のアオサギが観察できる。7月には、数が増えてきて多いと100羽以上が見られる。
春国岱	草原	ヒバリ、ヨシキリ、ノビタキ、シマセンニュウ、カッコウのさえずりを聞くことができる。数は少ないが、キタキツネコースからアカエゾマツコースの木道ぞいでノゴマ、マキノセンニュウも聞くことができる。
	森林	アカエゾマツコースでは、ルリビタキ、ミソサザイ、アオジ、ヒガラ、エゾムシクイ、ツツドリなどのさえずりを聞くことができる。
自然学習林		ウグイス、センダイムシクイ、エゾムシクイ、ミソサザイ、エゾセンニュウのさえずりを聞くことができる。また、ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)、ウソ、マヒワも見られる。※シマエナガは、今年はあまり見かけない。
開花		自然学習林: ネムロブシダマ・シコタンキンポウゲ・ヒオウギアヤメ・エゾニワトコ・オドリコソウ・コンロンソウ 春国岱: (森林)ツボスミレ・マイヅルソウ (草原)センダイハギ・オオヤマフスマ・ハマナス・ハマエンドウ・コツマトリソウ・ハマハコベ (塩性湿地)ウミミドリ・オオシバナ・エゾツルキンバイ・エゾハコベ
危険生物		エゾイラクサ・ツタウルシには、さわらないようにご注意ください。マダニ・カ・ヌカカを防ぐため、虫よけ剤の塗布をおすすめします。

新型コロナウイルス感染症の対策について

トピックス

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターでは、新型コロナウイルス感染症の対策として以下のことを実施しています。

- ・センター入口に来館者の皆さまのための手指消毒薬の設置
- ・館内のトイレ、ドア・階段の手すり、カウンターなどの消毒
- ・館内の換気
- ・望遠鏡・さわれる展示・おもちゃ類・工作コーナーの一時撤去
- ・視聴覚会議室（2階）、東梅駐車場トイレの一時利用停止
- ・図書コーナーご利用の際の人数制限、手指消毒
- ・双眼鏡の貸し出しは、消毒済みのものを貸し出し、使用後に再度消毒
- ・職員の検温・マスク着用・手洗い・うがいの励行
- ・カウンターへのビニールカーテンの設置



感染症の予防のため、熱がある、風邪のような症状がある等、体調がすぐれない方は、ネイチャーセンターへの来館をご遠慮ください。また、館内や自然観察路でのマスクの着用、入館時の手指の消毒や手洗い、来館者名簿への記入にご協力をお願いいたします。

根室市の新型コロナウイルス感染症対策の情報については、市役所のホームページもごらんください。



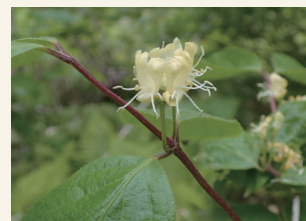
根室市役所ホームページ

春国岱クイズ

ネイチャーセンターのとなりの自然学習林で、ネムロブシダマの花が咲きはじまりました。ネムロブシダマは背の低い木で、明るい森のへりに生えています。日本では、北海道東部を中心とした地域だけにある植物なので、名まえに「根室」とついています。数が少なくなっています*ので、みんなでだいじにしたい植物でもあります。さて、それでは、名まえの後半の「ブシダマ」とは、どういう意味でしょうか？

- ①「武士魂」 武士の魂、刀のようなすらりとした木、という意味
- ②「附子球」 毒薬の附子の球がつく植物、という意味
- ③「舞師黙」 おどりの先生もだまってしまおうほどきれいな花、という意味

*環境省レッドリストで絶滅危惧II類に指定されています



春国岱ネイチャーセンターのイベント情報！

●ねむろの野鳥イラストコンテスト作品展を開催

1月のねむろバードランドフェスティバルの際に行われた「第6回ねむろの野鳥イラストコンテスト」の入賞作品と全応募作品、合わせて400点をネイチャーセンター1階に展示しています。きみの応募した作品も展示されていますよ。

会期：6/1(月)～7/5(日)

主催：ねむろバードランドフェスティバル実行委員会

イベント協賛：株式会社 明治

協力：(公財)日本野鳥の会、別海町観光協会、根室ワイズユースの会



●行事予告

小鳥の小道でたからさがしラリー 7/4(土)・5(日) 午前10時～午後4時

東梅自然学習林でおたからをさがそう！自然観察センターでたからの地図をうけとって、小鳥の小道を一まわりする間に、いろんなおたからの写真をとって来てください。全部の写真をとれた人には、ちょっとしたプレゼントをさしあげます。

長ぐつ、歩きやすい服そんで、マスクをして来てください。

持ち物：えんぴつかボールペン、カメラ（デジカメやカメラついたのけいたい電話）



募集中！

ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを常時募集しています。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月に1回、ミーティングを行い（基本的に最終火曜日）、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画・実施したりしています。

熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のある方はネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18歳以上

◆年会費（ボランティア保険料含む）：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



クイズのこたえ ②「附子」は猛毒のあるトリカブトの仲間の根のこと。秋になると赤くて丸い、毒のある実がつくので、この実のことをこう呼んだものようです。

参考文献 梅沢俊、2019. 北海道の草花. 北海道新聞社. 城川四郎他、2003. 樹に咲く花—合弁花・単子葉・裸子植物. 山と溪谷社.

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

HP. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Face Book. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日：（開館時間 9：00-17：00）

4月1・8・15・22・30日

5月1・7・8・11・12・13・14・20・27日

◆団体でご利用の方へ（事前予約制）

自然観察の案内やスライド上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録